

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 4 月 2 日 (2020.4.2)

【公開番号】特開 2017-113562 (P2017-113562A)

【公開日】平成 29 年 6 月 29 日 (2017.6.29)

【年通号数】公開・登録公報 2017-024

【出願番号】特願 2016-247985 (P2016-247985)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 2 月 19 日 (2020.2.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、

動作を行う可動役物を原点位置に復帰させる復帰動作を行い、

前記復帰動作の態様に依りて前記可動役物の初期動作を行い、

前記可動役物が前記復帰動作前に原点位置にあった場合に前記可動役物の初期動作を実

行可能である、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

(1) 本発明に係る遊技機は、上述した課題を解決するためになされたものであり、遊技を行うことが可能な遊技機（例えば、図 1 に示す遊技機 1 等）であって、動作を行う可動役物（例えば、図 3 3 等）に示す、演出制御用 CPU 1 2 0 によって動作が制御される、可動役物 1 7 3 の回動機構 1 7 3 A、開閉機構 1 7 3 B 又はスライド機構 1 7 3 C、並びに可動役物 1 7 5 の昇降機構 1 7 3 D 等）を原点位置に復帰させる復帰動作（例えば、図 4 0 ~ 図 4 3 において示す、演出制御用 CPU 1 2 0 によって動作が制御される原点位置に復帰する動作等）を行い、前記復帰動作の態様（例えば、図 4 0 又は図 4 1 において回動機構 1 7 3 A が原点復帰動作をしない態様と、図 4 2 又は図 4 3 において回動機構 1 7 3 A が原点復帰動作をする態様。また、図 4 0 又は図 4 2 において開閉機構 1 7 3 B が原点復帰動作をしない態様と、図 4 1 又は図 4 3 において開閉機構 1 7 3 B が原点復帰動作をする態様等）に依りて（例えば、図 4 0 ~ 図 4 3 において、回動機構 1 7 3 A 又は開閉機構 1 7 3 B が原点復帰動作を行ったときには初期動作をしない態様等で、又は、回動機構 1 7 3 A 又は開閉機構 1 7 3 B が原点復帰動作を行わなかったときには初期動作を行う態様等で）前記可動役物の初期動作（例えば、図 4 0 ~ 図 4 3 に示すショートイニシャル動作）を行い（例えば、図 4 3 に示す、初期動作をしない態様を含む）、前記可動役物が前記復帰動作前に原点位置にあった場合（例えば、図 3 3 に示す原点センサ 1 7 1 A、又は図 3 4 に示す原点センサ 1 7 1 B がオン状態であった場合等）に前記可動役物の初期動作

を実行可能である（例えば、図 40 に示す、回動機構 173 A が（3）及び（6）の動作において、及び開閉機構 173 B が（4）及び（5）の動作において初期動作を行う等）

—